

# 「企業の社会的責任（CSR）」について

～ CSR活動に取り組んでいる企業は43.3%～

## はじめに

企業活動の多様化や地球温暖化防止等の環境問題への動きが加速する中、環境・労働・人権・社会貢献活動など様々な「企業の社会的責任（CSR）」に関する取組みの動きが広がっており、CSRに対する関心も高まってきている。今後、さらにCSRの取組みが重要になると考えられ、「企業の社会的責任（CSR）」に関する取組み状況について調査・分析を行った。

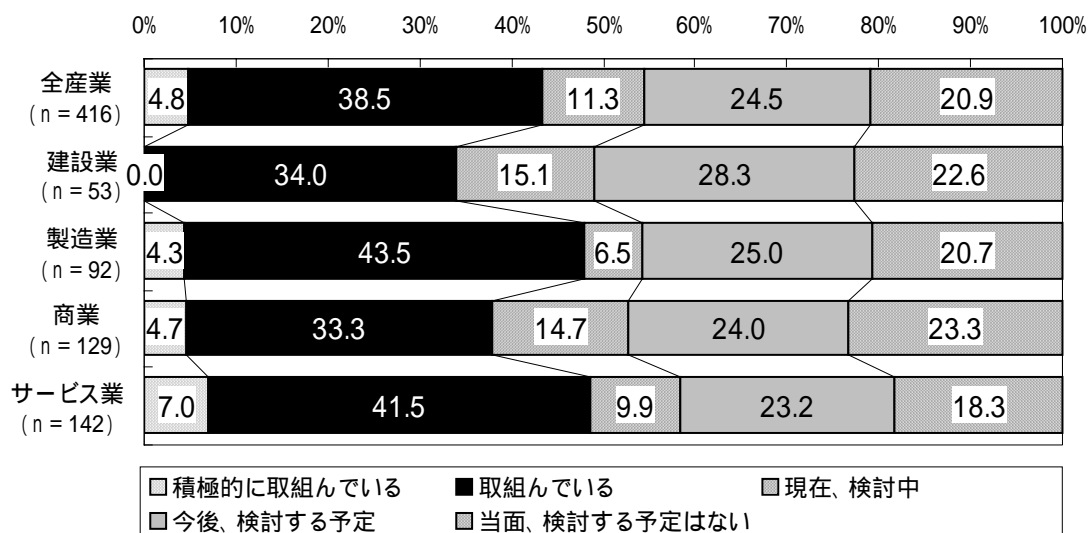
「企業の社会的責任」= CSR : Corporate(企業) Social(社会的) Responsibility(責任)

## 企業の社会的責任（CSR）に関する取組み状況について

全産業では、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいる」を合わせた『CSR活動に取り組んでいる企業』は43.3%、「現在、検討中」と「今後、検討する予定」を合わせた『CSR活動に前向きな企業』は35.8%となっており、約8割の企業がCSR活動に前向きとなっている。

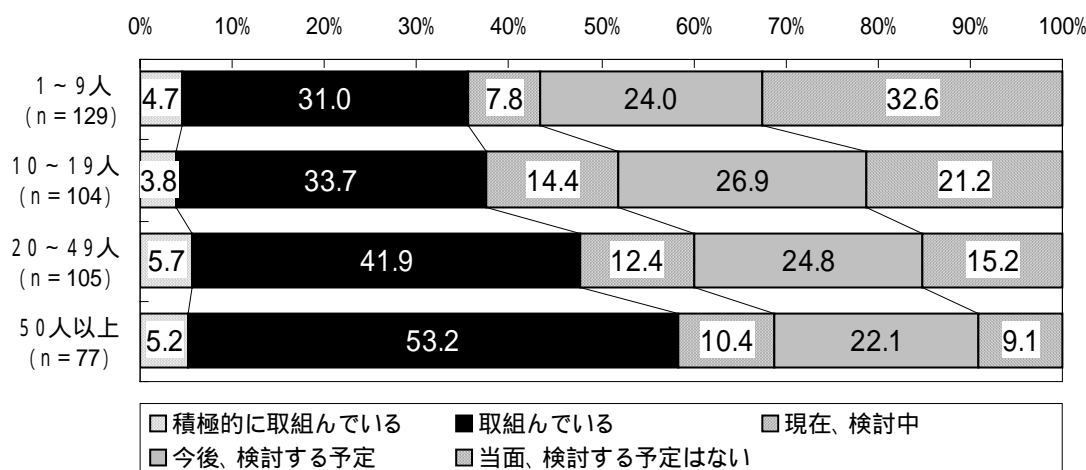
産業別で見ると、『CSR活動に取り組んでいる企業』はサービス業で48.5%と最も多く、建設業で34.0%と最も少なくなっており業種別に差が見られるが、『CSR活動に取り組んでいる企業』及び『CSR活動に前向きな企業』を合わせた割合では、業種別に差は見られない。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
積極的に取り組んでいる	20	0	4	6	10
取り組んでいる	160	18	40	43	59
現在、検討中	47	8	6	19	14
今後、検討する予定	102	15	23	31	33
当面、検討する予定はない	87	12	19	30	26
合計	416	53	92	129	142



企業の人員別に見ると、『CSR活動に取り組んでいる企業』は「50人以上」で58.4%と最も多くなっており、人員数が多いほどCSRに関して前向きとなっている。

	1～9人	10～19人	20～49人	50人以上	合計
積極的に取り組んでいる	6	4	6	4	20
取り組んでいる	40	35	44	41	160
現在、検討中	10	15	13	8	46
今後、検討する予定	31	28	26	17	102
当面、検討する予定はない	42	22	16	7	87
合計	129	104	105	77	415



### 企業の社会的責任（CSR）の取り組みについて

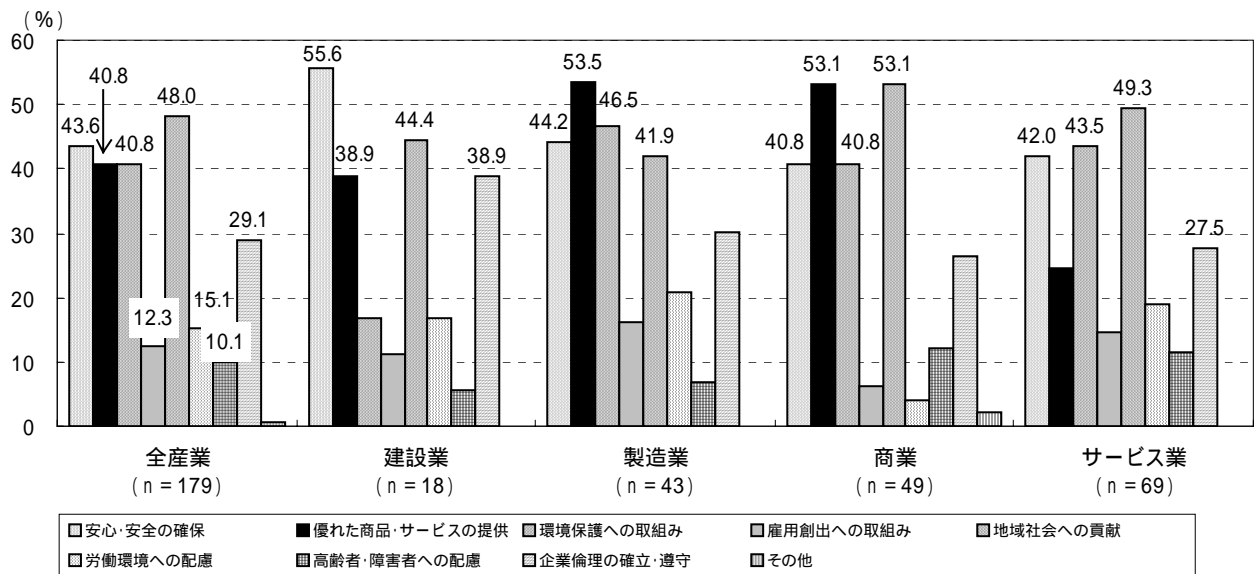
( ) の問で「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」と回答した企業からの回答)  
 ( ) 重点的に取り組んでいるCSR活動【3つまで回答可】

全産業では、「地域社会への貢献」が48.0%と最も多く、次いで「安心・安全の確保」43.6%、「優れた商品・サービスの提供」及び「環境保護への取り組み」40.8%となっている。

産業別で見ると、建設業では「安心・安全の確保」55.6%、製造業では「優れた商品・サービスの提供」53.5%、商業では「優れた商品・サービスの提供」及び「地域社会への貢献」53.1%、サービス業では「地域社会への貢献」49.3%が最も多くなっている。

具体的な活動内容としては、地元イベントへの参加や清掃活動への参加、環境保全活動への参加などとなっている。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
安心・安全の確保	78	10	19	20	29
優れた商品・サービスの提供	73	7	23	26	17
環境保護への取り組み	73	3	20	20	30
雇用創出への取り組み	22	2	7	3	10
地域社会への貢献	86	8	18	26	34
労働環境への配慮	27	3	9	2	13
高齢者・障害者への配慮	18	1	3	6	8
企業倫理の確立・遵守	52	7	13	13	19
その他	1	0	0	1	0
回答企業数	179	18	43	49	69

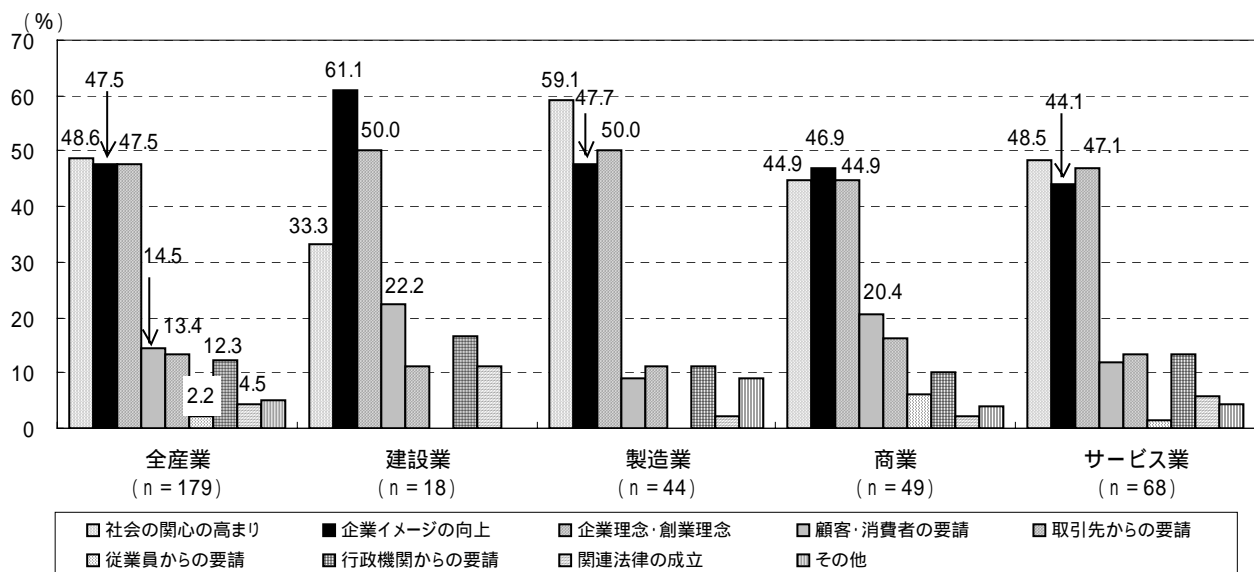


( ) CSRへの取組みのきっかけ【複数回答可】

全産業では、「社会の関心の高まり」が 48.6%と最も多く、次いで「企業イメージの向上」及び「企業理念・創業理念」47.5%となっている。

産業別で見ると、全ての業種で「社会の関心の高まり」、「企業イメージの向上」、「企業理念・創業理念」が上位となっている。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
社会の関心の高まり	87	6	26	22	33
企業イメージの向上	85	11	21	23	30
企業理念・創業理念	85	9	22	22	32
顧客・消費者の要請	26	4	4	10	8
取引先からの要請	24	2	5	8	9
従業員からの要請	4	0	0	3	1
行政機関からの要請	22	3	5	5	9
関連法律の成立	8	2	1	1	4
その他	9	0	4	2	3
回答企業数	179	18	44	49	68

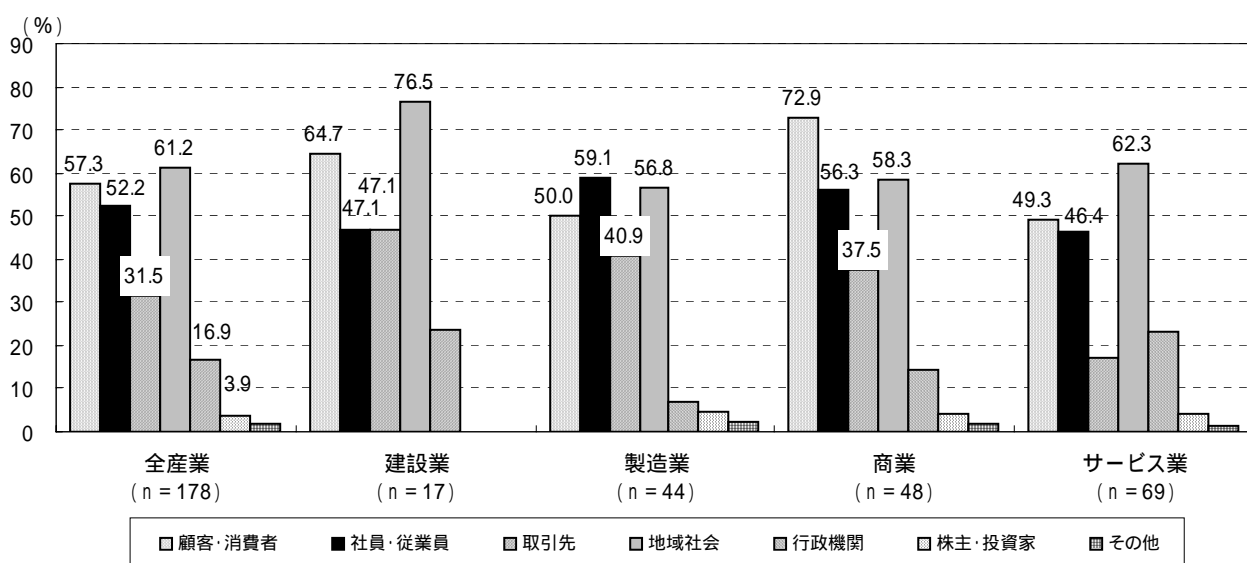


**( ) 重要と考える利害関係者(ステークホルダー)【複数回答可】**

全産業では、「地域社会」が61.2%と最も多く、次いで「顧客・消費者」57.3%、「社員・従業員」52.2%となっている。

産業別で見ると、建設業及びサービス業で「地域社会」、製造業で「社員・従業員」、商業で「顧客・消費者」が最も多くなっている。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
顧客・消費者	102	11	22	35	34
社員・従業員	93	8	26	27	32
取引先	56	8	18	18	12
地域社会	109	13	25	28	43
行政機関	30	4	3	7	16
株主・投資家	7	0	2	2	3
その他	3	0	1	1	1
回答企業数	178	17	44	48	69

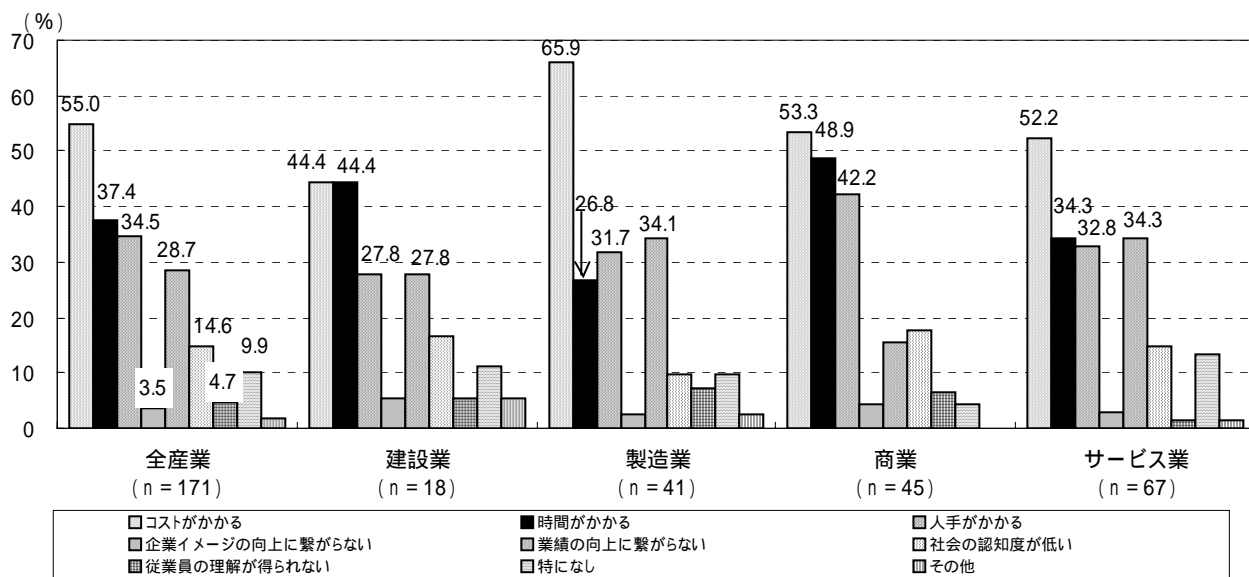


**( ) CSRの取組みにおける課題【複数回答可】**

全産業では、「コストがかかる」が55.0%と最も多く、次いで「時間がかかる」37.4%、「人手がかかる」34.5%となっており、5割以上の企業がCSRの取組みにおける課題にコスト面を挙げている。一方、「企業イメージの向上に繋がらない」(3.5%)や「従業員の理解が得られない」(4.7%)は低い割合となっている。

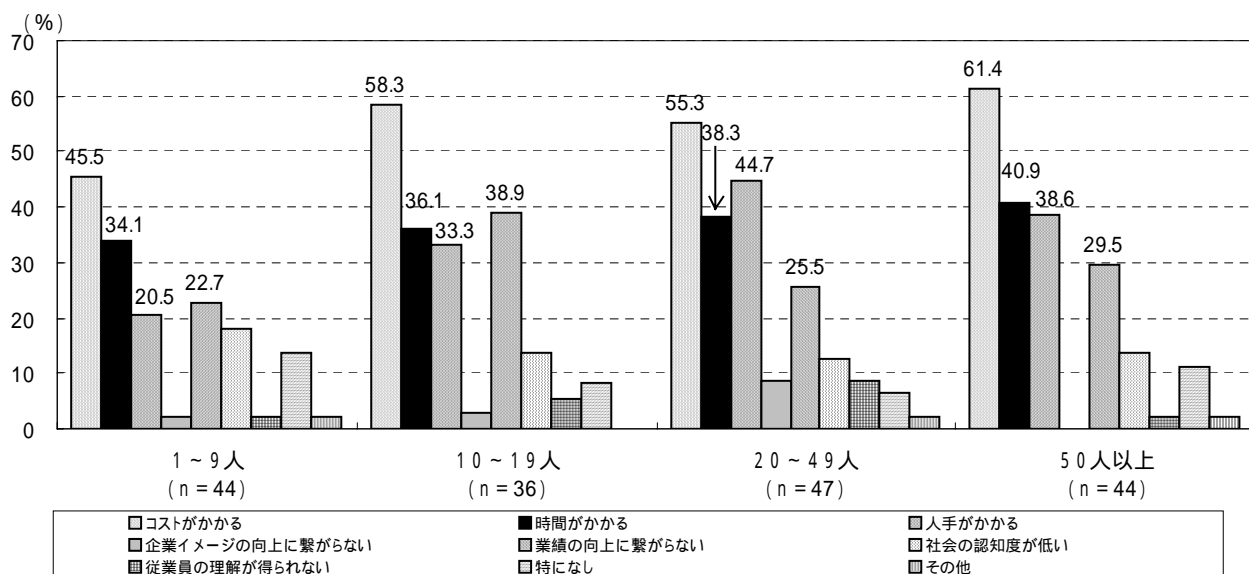
産業別で見ると、全ての業種で「コストがかかる」が最も多くなっており、製造業では65.9%と6割を超えており、他の業種よりも割合が高くなっている。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
コストがかかる	94	8	27	24	35
時間がかかる	64	8	11	22	23
人手がかかる	59	5	13	19	22
企業イメージの向上に繋がらない	6	1	1	2	2
業績の向上に繋がらない	49	5	14	7	23
社会の認知度が低い	25	3	4	8	10
従業員の理解が得られない	8	1	3	3	1
特になし	17	2	4	2	9
その他	3	1	1	0	1
回答企業数	171	18	41	45	67



企業の人員別に見ると、全ての区分で「コストがかかる」が最も多くなっており、「50人以上」では61.4%と6割を超えている。

	1～9人	10～19人	20～49人	50人以上	合計
コストがかかる	20	21	26	27	94
時間がかかる	15	13	18	18	64
人手がかかる	9	12	21	17	59
企業イメージの向上に繋がらない	1	1	4	0	6
業績の向上に繋がらない	10	14	12	13	49
社会の認知度が低い	8	5	6	6	25
従業員の理解が得られない	1	2	4	1	8
特になし	6	3	3	5	17
その他	1	0	1	1	3
回答企業数	44	36	47	44	171



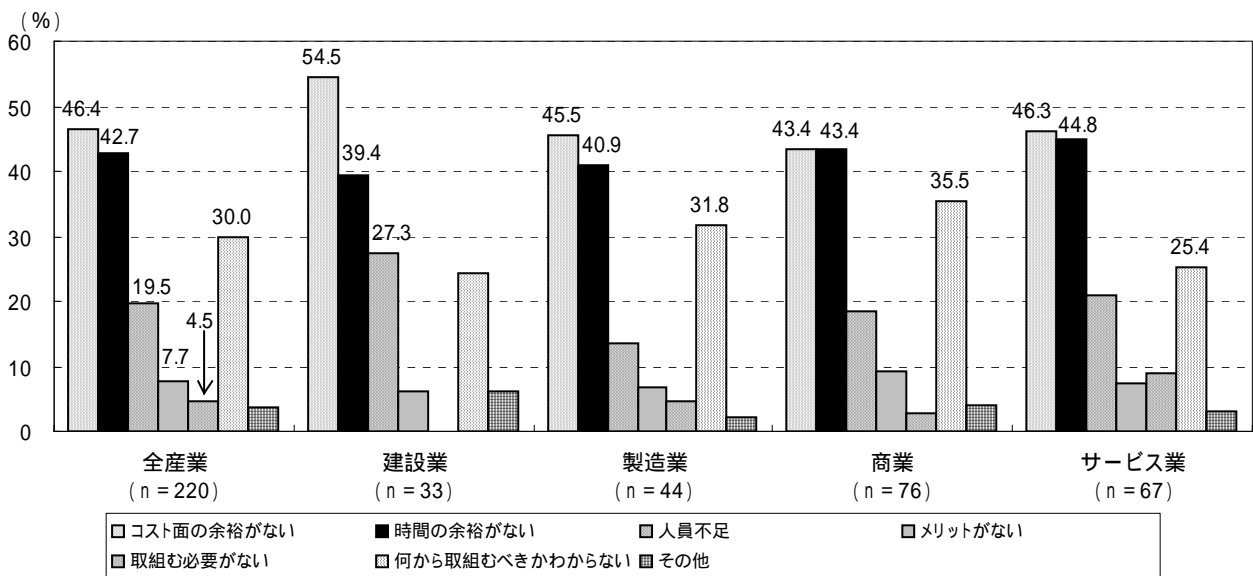
**CSRに取り組んでいない理由について【複数回答可】**

( の問で「現在、検討中」、「今後、検討する予定」、「当面、検討する予定はない」と回答した企業からの回答)

全産業では、「コスト面の余裕がない」が46.4%と最も多く、次いで「時間の余裕がない」42.7%、「何から取り組むべきかわからない」30.0%となっている。一方、「メリットがない」は7.7%と低い割合となっている。

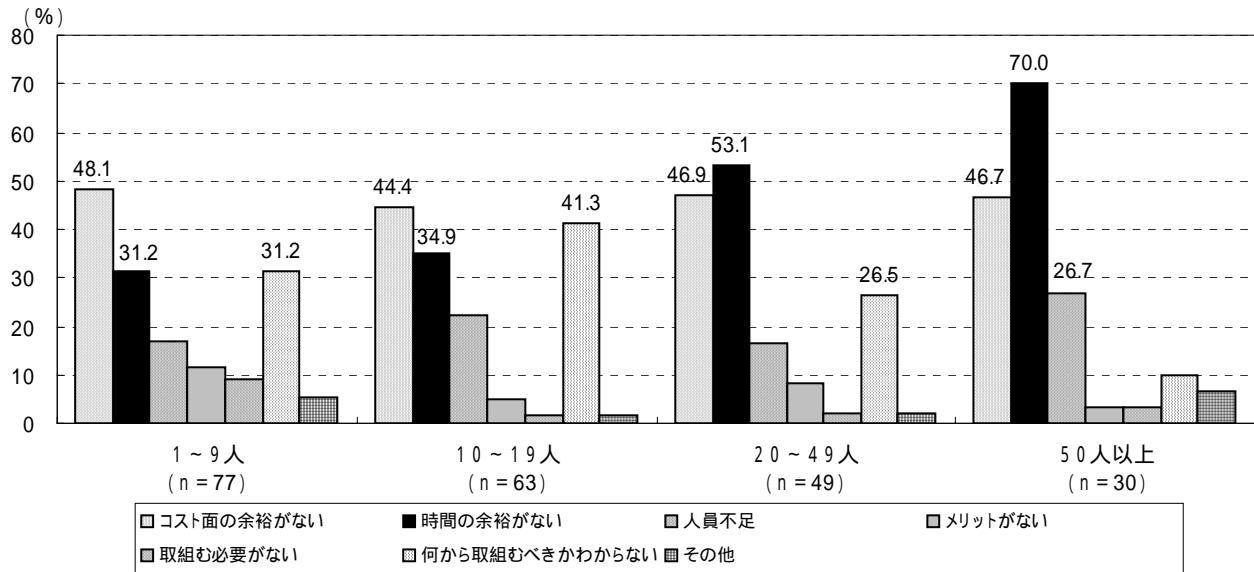
産業別で見ると、全ての業種で「コスト面の余裕がない」及び「時間の余裕がない」が上位となっており、特に建設業で「コスト面の余裕がない」が54.4%と5割を超えている。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
コスト面の余裕がない	102	18	20	33	31
時間の余裕がない	94	13	18	33	30
人員不足	43	9	6	14	14
メリットがない	17	2	3	7	5
取り組む必要がない	10	0	2	2	6
何から取り組むべきかわからない	66	8	14	27	17
その他	8	2	1	3	2
回答企業数	220	33	44	76	67



企業の人員別に見ると、人員数が多くなるほど「時間の余裕がない」の割合が高くなり、「20人以上」ではコスト面よりも時間的な要因が大きくなっている。

	1～9人	10～19人	20～49人	50人以上	合計
コスト面の余裕がない	37	28	23	14	102
時間の余裕がない	24	22	26	21	93
人員不足	13	14	8	8	43
メリットがない	9	3	4	1	17
取り組む必要がない	7	1	1	1	10
何から取り組むべきかわからない	24	26	13	3	66
その他	4	1	1	2	8
回答企業数	77	63	49	30	219



## おわりに

今回の調査では、『CSR活動に取り組んでいる企業』は43.3%、『CSR活動に前向きな企業』は35.8%となっており、約8割の企業がCSR活動に前向きであり、人員数が多い企業ほどCSR活動に前向きとなっている。

『CSR活動に取り組んでいる企業』において重点的に取り組んでいる活動としては、「地域社会への貢献」(48.0%)、「安心・安全の確保」(43.6%)、「優れた商品・サービスの提供」(40.8%)、「環境保護への取組み」(40.8%)の割合が高くなっている。また、CSRの取組みにおいての課題としては、コスト・時間・人力的な面を挙げる企業の割合が高くなっている。

一方、CSRに取り組んでいない理由としては、コスト・時間的な面に次いで「何から取組むべきかわからない」を挙げる企業の割合が高くなっている。

CSRは企業の経営そのものといえる。また、経営者は企業が社会に果たしている責任を改めて認識するなかで、CSR活動としてどのような取組みをすべきなのかを考えることが重要である。今後、CSRに関する取組みの重要性はさらに増すものと考えられ、企業経営の強化は勿論、企業価値を高めるうえでも、企業のCSRへのさまざまな取組みに期待したい。